

議事録 20191114 第 11 回まちづくり町民会議

1) 会長あいさつ

会長：お集りいただきありがとうございます。新庁舎関係の協議は本日で最終となります。

再協議が必要な事項と、新しい事項を検討していただき、基本計画書の作成に移っていき

たいと思いますので、宜しくお願い致します。

2) 住民説明会における新庁舎関係質問報告

委員：障がい者の意見の反映について、こういった形でパブリックコメントを募集するのか。

方法や手続きを教えてください。

事務局：基本計画を策定し、委員の皆さまに書面で決議をいただいた後に、町の HP、役場、

図書館、文化ホールで閲覧ができるようにしたい。

委員：その方法で、障がい者の方々の意見を十分に反映できるのか危惧しているが。

事務局：設計の段階で障がい者の方々の意見を聞くことは当然ではあるが、専門家に入って

もらって基本設計づくりに着手したい。もちろん意見を聞く機会は考えていきたい。

3) 基本計画必要事項

項目 3 / 床面積・敷地面積

委員： 山の方の敷地をどうしようかという話があったが、例えば本で行われている音楽イベントでは別紙の配置図にある新庁舎建設予定地をすべて駐車スペースに充てている。配置図通りでいくと、駐車場が圧倒的に足りないのではないか。

事務局： 項目 19 / 用地購入 新庁舎については利用最大時 192 台を想定している。これは役場職員の車、公用車、区長会、農業委員会、保健センターと包括支援センターの利用者数などから算出した数字。現在は 161 台がキャパなので 31 台不足してしまう。近くの 1100 m²程度の敷地（山側に黄色く塗りつぶしている部分）がそこまで改修しなくても駐車場として使えそうなので、そこでカバーできないかと検討している。以前、ドクターヘリや風力発電の敷地のことを話していたが、役場庁舎建設に関わるのではなく町全体の計画の中で考えていくべきことなので、この計画からは除外させてもらっている。

補足) 以前、保健センターと包括支援センターを入れるのであれば、子育て支援課をそこに一緒にしてはという質問があったが、子育て支援課の業務は保健福祉課との連携が頻繁であることがヒアリングの結果分かった。逆に、保健センターで役場の申請手続きが必要な事業が今のところ 1 件しかない。プライバシー配慮を優先し、入口や建物を分けて、保健センターと包括支援センターで水利事業所を活用すべきだと考えた。

委員： 先ほどの最大利用時の数字は、あしびの郷でイベントがあった際の車の台数まで考慮されているのか。

事務局： 192 台というのはイベントではなく、役場職員の通常利用に加えて会合や健診が

あった場合を想定している。土日イベントであれば職員の車はないが、実際開催されてみると分からないところもあるので、まずは黄色枠部分の敷地を購入することで、ホールの近くに車が止められるように考えている。

委員：将来的に駐車スペースが足りないとなった場合に、追加購入の予定はあるのか。

事務局：あしびの郷の横の土地をリースする等で対応していきたい。購入については土地利用を含めながら議論が必要だと思うので、回答保留とさせていただきたい。

委員：現在のキャパで 161 台ということだが、配置図で見ると、計画中の屋根付き駐輪場と、あしびの郷前の駐車場を足した台数ということか。

事務局：あしびの郷の駐車場は、普通車両が 110 台、山側に大型車両が 6 台、障がい者妊婦優先が 5 台ある。さらに水利事業所の舗装場所に止められるのが 40 台と想定しており、舗装されている駐車スペースが 161 台ということになる。

委員：そうすると、不足する 31 台分の駐車スペースを 1100 m²の土地で確保すると考えているのか。

事務局：31 台以上が止められると思う。この用地は地権者が同じ方なので購入・整備がしやすいという観点もある。これ以外の土地については、大規模災害が来た時に自衛隊車両が入ったりテントを立てたりすることも考えられるので、次の段階で上の土地も考えていかなければならない。

委員：屋根付き駐車場は利便性が高いが、緊急時を考えると救急車両等の障害にもなり得る

のではないか。屋根がなければ庁舎前でイベントや壮行会などを行うことも可能になるのではないか。

事務局：屋根付き駐車場は公用車用ではなく、一般の方で例えば障がい者の方が利用することも想定している。先ほどの意見も踏まえて検討する。

委員：庁舎移転場所が決まったときに、駐車スペースが広いからという理由があった気がするが…。公用車 27 台を停める場所というのは、休日に関わらず必要なのか。その場合、現時点でどのあたりを想定しているのか。

もう 1 点は、「町総合計画において田水団地付近を福祉ゾーン」と考えているとあるが、社会福祉協議会も福祉ゾーンに含まれているのか。

事務局：あしびの郷裏の搬入口付近にもまだ町の土地があるので、そこも有効活用しながら、なるべく庁舎の近くには住民の皆様が車を止められるようにと考えている。また、もう 1 点の質問について、社会福祉協議会の建物の老朽化が著しいということは把握しており、社会福祉協議会を含めた福祉ゾーンを（総合計画内）検討していく。

委員：屋根付き駐輪場を設置してしまうと、何かあった際に弊害が出るのではないかと思うので、地下駐車場を造ることは検討していないのか。公用車の傷みを防ぐ意味でも地下がいいのではないか。

事務局：水利事業所向かいの未舗装場所については、地下を使うことも検討しているが、高さが確保できないかもしれないという意見もある。地下には発電設備等を置くこともでき

るので、有効利用を図っていききたい。屋根については、住民説明会の中で和泊町庁舎を例に挙げて、障がい者の方に配慮が足りないのではないかという意見があったので、屋根付き駐輪場の在り方については基本計画を出すまでに提案させていただきたい。

委員：必ずしも屋根付き駐車場にしなくても、入口の軒を大きくして雨に濡れずに乗り降りできるロータリー（車寄せ）を設置することも考えられるはず。

委員：予算がどんどん膨らんでいくような印象。総額 12 億で計画を立てているが、できるだけ安く抑えられないのかという意見もある。「その他」としてドクターヘリや駐車場を別の会計で考えるということだが、12 億の中には電算やクリーンエネルギー再生の空調設備等、庁舎に関わるすべてを含めて 12 億と捉えていいのか。

事務局：建物や付帯設備を含めて 12 億で、電算の移転は別計算の予定だった。建物を造る費用の純粋価格だけを出している。今後、基本構想の中では電算関係、新しく購入する発電機関係を全部含めて計上したい。

委員：備品購入などを含めると額は膨らんでいくということか。

事務局：備品は別扱い。建物だけで 12 億という数字を出している。

委員：喜界町役場は周辺の敷地面積がかなり広がった。和泊町と知名町新庁舎はほとんど変わらないだろうという印象だが、和泊町は保健センターを併合していないのではないか。和

泊町との人口比から割り出して庁舎面積を想定してはどうか。

事務局：和泊町は包括支援センターが庁舎内にあり、保健センターは別の敷地。本町は与論町に近い形になる。保健福祉課との連携を考えたときに、なるべく同じ敷地内にあった方がいいという意見が、保健センター職員のヒアリングの際にあった。申請関係は少ないが、何かあったときにすぐに話し合いができるというメリットがある。

委員：駐車場については建物の上を有効に使うことも考えられる。

事務局：それも踏まえて検討したい。

委員：全体として消極的賛成。実は町有地にかなりの遊休地が残っている。(資料の)あしびの郷の東側にある赤い私有地の上の黒い部分、左の三角にみえる部分がそう。さらに提案したいのは、一番下の黒い部分は遊水池(沈砂池)で、ここは現在まったく利用されていないし、赤土の土砂の被害はまず考えることはない。幹線道路はともかく脇道を見直せば、皆が心配している駐車場の問題はクリアになる(40~50台分はある)。まったく利用されていない遊休地が周辺にあるので、敷地全体をどう利用するのかという目線から検討すると、もっと利用度の高い庁舎配置ができると思う。ついでに、赤の部分(庁舎建設予定場所)は回りからの埋め土なので地盤が下がっているかもしれない。土質調査すると分かることだが、確認を。景観という視点から見ると、新庁舎の箱物だけだと寂しいが、先立つものが12

億と決められると、なかなか言いたいことも言えない。固定観念を持たないことだ。スタッフ会議で再検討して欲しい。

事務局：赤の部分は、一部埋め立て地。あしびの郷建設時のボーリング調査した結果から、10メートルを地質調査で掘ってみる計画。

町長：山側の土地は、間にどうしても購入できない場所が1箇所ある。その上の方は、駐車場や、やがてヘリポートを造るときには利用できるが、庁舎を山側に持って来るのは難しい状況がある。なおかつ、令和2年度に実施設計を完了させておかなければならないので、まずは町有地を使った配置を考えている。

委員：搬入口あたりを利用すればあしびの郷からバイパスまでかなりの空間が生まれるので、先ほどの駐車場についても解決の方法が生まれるのでは。

委員：個人的な意見になるが、下から上がってくるときにエリア全体が一つの風景になって欲しい。お金をかけず周辺の土地をうまく活用して、エリア全体を自慢できる景観にするための工夫が必要。

事務局：最終的にはL字型など効果的な形があるかもしれない。今は配置を示すうえで、一番建設費が安い長方形型で提案している。

委員：役場は知名町の顔になる施設。バイパスから坂を登っていったときに、庁舎の正面が見える方がいい。現状の配置では入口が山側を向いているが、反対側（南側）に玄関があった方がいいのでは。

事務局：ご意見を踏まえ、基本計画を出すまでに理由も含めて提示したい。

委員：庁舎に付随する費用は補助が付かないのか。

事務局：庁舎建設に関わる費用はすべて単独費用、一般財源、地方債しかない。空調システムについては補助金を活用して導入する予定。

委員：庁舎の正面が見えた方がいいという意見に賛成。以前、水利事業所を壊して建てた方がいいと提案したのはそのため。

事務局：皆様、やはり南側に入口があった方がいいと思いますか？

委員：そうすると、あしびの郷はあっちを向いていて、庁舎はこっちを向いている…。入口が同じ向きの方が美しく見えるかもしれない。

～マイク OFF、会話が入り乱れて聞き取りが難しいです～

事務局：水利事業所に契約で貸し出している部分が、建物だけでなく駐車場敷地もあり、令和4年度までは触れないという事情もある。

委員：町の100年の体系…そこは交渉で何とかなるのでは。

事務局：改めて提案する。あしびの郷に隣接するということは会議室、ホワイエ、リハーサル室としても利用可能になる。これまで本町の施設はいろいろな場所に分散していたが、今回はじめて複合エリアとなるので、その点もご理解いただきたい。

町長：西日をカットするために建物の向きを検討する必要もある。現在は大まかなところで、水利事業所の前のあたりに建設する予定ということだけ理解していただきたい。

項目 5／新庁舎課配置

項目 6／座席レイアウト

委員：時代の趨勢でやむを得ない部分があるかもしれないが、隣同士でもメールでやり取りする世の中。機能ばかりを追求するとコミュニケーションが希薄になり、人間関係に影響しないか。職員間のハートも大事なので、コミュニケーションを取りやすいように、例えば、課の中央に会議スペースを設けるなども検討して欲しい。

事務局：課の統廃合や庁舎スペースの問題も勘案しながら検討したい。

委員：間に職員のハートを少し残すと、職員が長続きすると思う。

委員：通路に対して直角方向の対向式で、町民に対して背を向けないのが通常。

事務局：町民が来た際にすぐに対応できるよう、考慮していきたい。

項目 15／機能 8 会議室・相談室

項目 16／機能 9 その他必要とする機能

事務局：和泊町、与論町も視察したが、会議室については多目的に使えるようなものを知名町においても想定している。相談室はプライバシー配慮が必要なので、入口を別にして確保することになると思う。

委員：障がい者という言葉で一括りにしがちだが、足腰が悪い人たちだけではなく、視覚障がい者への配慮がもっと必要だと最近特に感じる。

委員：計画を立てる際に専門の方を入れて、多様な障害を持った方々にもしっかりと対応できるようにしていただきたい。

委員：町長への質問。庁舎の配置について、先の住民説明会でどの程度説明をし、どの程度の理解度を得られたと感じているのか。

町長：住民説明会では配置場所については明確に提示していない。総工費を12億円前後で考えているという話はしたが。そのためにこの場で皆さまから意見を聞いたり、職員ヒアリングを行ってからと提示したいと考えている。

委員：「男女別トイレ」と書かれているが、多目的トイレもあるのか？

事務局：多目的トイレはフロアごとに設置予定。

委員：会議室と相談室の場所について、庁舎内に設けて出入口を別に設けるのであれば、あしびの郷の個室を利用することも可能ではないか。総工費の削減になるのであれば。

事務局：相談室は庁舎内に設ける必要があるが、会議室の有効活用については、あしびの郷

も利用することを視野に入れたい。

委員：職業柄、農林課によく行くことがある。靴に土が付いていることがあり、正面玄関から入ることが憚られる。農家の方がトラックからサッと降りて問い合わせ等ができるような小窓などがあればうれしい。

事務局：入口が複数あるのはセキュリティ上の問題も出て来るが、利便性を考えるべきだと思うので持ち帰って検討したい。

事務局：和泊町の庁舎が、経済課、耕地課、農業委員会が同じ敷地内にあって、外に水場があり土落とし場のような形で使っている。そういう点も取り入れて考えていきたい。

委員：銀行関係が遠くなるので、ATMが入っていると助かる。

事務局：住民説明会でも要望があったので、ATM設置については検討を進めていきたい。

項目 17 / 議会

町長：中種子町で市町村長会議があり、議場をどうするのが話題になった。屋久島町は真っ平らで、議長席などは会議終了後にすべて片付けて、町民が会議室として利用できるようにしている。大隅庁舎も来年度完成予定だが、議場は真っ平らにして、年間使用回数から

考えると、公民館的な会議スペースとして使用できるようにと考えているようだ。多目的に使えるスタイルというのが主流になって来ているようだ。

委員：知名町は、町誌編纂をするにあたっての資料がまったく保管されていない。資料の保管期間は条例で決められているが、きちんとされていない節がある。年度ごとに町誌に残すべき重要事項を整理しておいて、いつでも町誌づくりができるような体制を整えておいてもいいのでは。現在、町誌の資料となり得るのは議会の議事録くらい。町誌編纂をする役割のスペースと職員の配置が必要で、その上で書庫をどうするかを検討してみたい。

委員：この形態の議場は必ずしも必要なのか。あしびの郷のホールを使っては？

事務局：定例会は何数回だが、議決事項が出てきた場合に議場としてのスペースの確保は必要である。ただし、それを他の用途で有効活用できるようにすることはできるので、全国の市町村ではコンサートを行っている例もあるので、十分に検討していきたい。

委員：傍聴しやすい形の議場にしてもらいたい。

項目 18 / 備品購入

委員：鍵付きキャビネットは机とは別？別であればいいと思う。

事務局：別です。鍵付きキャビネットについては管理職が管理を徹底する。

委員：備品については長く使えるようにメンテナンス（錆止め等）をしっかりと欲しい。

職員が使う机はしっかりしたものがいいと思うが、町民が使うスペースには、地元の大工さんが手作りで作ったようなものを配置できれば、温かみがあっていいのでは。

事務局：メンテナンスについては、新庁舎が出来上がる前に、点検・メンテナンス事項の計画を作る予定。可能であれば臨時職員を雇って定期的にできればいいと思う。手作りの家具を取り入れて欲しいという要望については、和泊町が議会議場のテーブルに取り入れているが、木を使った事業が鹿児島にあるので、本町でも取り入れられないか検討したい。

委員：建物もそうだが、備品についても環境配慮型にして、他の町の人にも自慢ができるようなものにして欲しい。

委員：机のレイアウトによってはコンセントの使用に不都合が出るかもしれない。天井にも予備的に何か所か電源が必要。

事務局：前回もあったが、上げ床式にすればカバーできる。

事務局：備品については、老朽化が激しいものもあるので更新を予定している。文書管理ツ

ールも現在は課によって異なっているので、統一を図っていきたい。

項目 19 / 用地購入

事務局：用地購入については先ほど説明をしたので割愛する。

委員：先ほども話したが、土地利用についてはきちんと組み立てれば職員専用駐車場くらいは確保できるはず。なお不足する部分を購入すればいい。

項目 20 / 地質調査

委員：地下水脈を当てるための地質調査？何の地質調査なのか？

事務局：庁舎建設のための地盤の調査だが、地下水も活用するので、近くにどのくらいの深さの水源があるのか調査したい。

委員：相当の技術者を呼べるのか。

事務局：国の補助事業で採択を受けて依頼している業者がいる。昨年から、あしびの郷周辺の電気探査をしているので、技術をしっかり持った方をお願いをする。

委員：あしびの郷の町有地の中に水脈があることが分かっているのか。

事務局：調査してみないとはっきりと分からないが、近くに瀬利覚水源地があるので、その界隈を鑑みると、水脈があるのではないかと推測している。

委員：再生可能エネルギー導入するための調査費用はすべて補助金で賄われるということか。補助金の総額を教えてください。

事務局：調査にかかる費用は 1 千万円ほどで、その全額を国庫補助金で補う。建設事業費については、3 分の 2 を国の補助金で賄う予定。

町長：実際にシステムを導入できると決まっても、国の補助が令和 2 年度で切れる。つまり庁舎完成に間に合わない。なので、環境省に行って令和 3 年から 5 年間継続できるように要望してくる。また先日、衆議院議員や東京都知事と一緒に、このシステムに関する第二次の補助を要望してきたところだ。

委員：ぜひ導入して、町民負担も少なくなるように期待している。

委員：再生可能エネルギーというのは地下水なのか。どのくらいの量があればいいのか。

町長：水量がない場合はクローズド方式になる。地下水を汲み上げて使用後また地下に返すオープンルーフと、水をなるべく使わないで地面にそのまま放熱するクローズドルーフの 2 通りある。水を当てることができれば経費がかなり安くつくと聞いている。

委員：地下の水脈の温度と、地表の温度の差を利用するのか。水道水を地下に下ろして水温を下げ、また汲み上げるという方法もあるのか。

町長：はい。水を取って水で熱を逃がす方法と、そうではない、一つの水源を行き来させるクローズドという方法がある。後者の方がかなり高くなる。建物の大きさにもよるが。新庁舎の敷地内の方が望ましいが、確実に出る場所から水を引っ張って来る方法もある。

その他の質問

委員：あしびの郷の坂道を下りてバイパスに出た際、南方向（商店街や銀行）にまっすぐ下りていく新しい道路をつくることはできないのか。

事務局：もともと計画もあったようなので、検討事項として挙げていきたい。

委員：信号機ももちろん付くのか。

事務局：はい。十字路になった場合は安全面も重要なので。

委員：あしびの郷のイベントで駐車場係をすると、帰宅の際に右からも左からも車が出てきて大変。新庁舎建設後は導線を決める予定があるのか。

事務局：イベント終了後、スムーズに出られる方法を検討したい。

委員：庁舎建物の向きについて南向きがいいという意見があったが、個人的には、庁舎内に入ったときに町民がフロアから海が見られる向きがいいのではと考えている。その方が現在の駐車場スペースが有効的に活用できるのではないかと思う。